

案内

光円寺 パソコン教室 参加費 五百円(パソコン持込)

五月十七日(火) 午前十時〜 修理、相談もOK

光円寺 山の家 満月・新月の集い

満月：五月十七日(火) 新月：六月二日(木)

*食事の都合上、来られる方は要連絡

光円寺 女性会 正信偈の書写

五月十八日(水) 午前十時〜 正信偈・お話・書写

光円寺 第二十三回 選択本願念仏集を読む会

五月二十五日(水) 午後七時三十分〜

講師 玉光真人さん 第四章 三輩念仏往生の文

定例・同朋会 今月は七組講座に合流します。

七組・社会問題講座

五月二十八日(土) 午後二時〜五時 会場・西田中 光明寺

ゲスト 山内知也さん(神戸大学) 放射線の研究者

テーマ「福島原発事故に私たちはどう向き合えばいいのだろうか!」

光円寺春季・永代経会 六月五日(日)

十一時半〜お斉 十三時〜お経

十四時〜 法話 講師：長田浩昭さん(法傳寺住職)

「五濁悪世を生きる——東日本大震災にあつて——」

七時半〜お経・正信偈 八時〜座談〜交流会

編集後記

年間行事計画の掲載が遅れすみません!予定してください!

今回の東日本大震災で被災し避難しようとした人が、放射能の除染を強要されたり、避難所に入れてもらえなかったり、又、学校でも転入して来た子を「放射能がうつる」と言って除けものにし、差別する。そんなことが実際に起こっていると報道されました。それは、自分の中にある「放射能に対する恐怖や不安」が、排除・差別するという形で表に現れたのです。この事は、自分の中に巣くう、いやなもの・きにいらぬもの・みたくないもの・・・を排除するという自己保身に依るのです。

が、実は自分自身を排除しているという事なのです。他を排除し自らをも排除しているのです。仏教は「生死(しょうじ)出(いづ)る道」といわれています。それは、自分の中で排除しているもの(死)をも自分だと見る視点を与えてくれるのです。自分の外に現れているのは、自分の内にあるものが「表出」したものです。それは、自分そのものです。排除しているものから、排除しているものが自分だと学ぶ視点が「生死出る」という事なのでしょう。(明)

愕然とするほどの微力であることは解っています。ただ、微力がたくさん集まっているのを感じました。弱者に背を向けるような教団であってはならない。いまはそう思っています。(被災地レポートより)表紙の言葉と共に被災地へ行った僧侶の発信するニュースから心に残った言葉です。ガレキガレキと簡単に言葉を使う私たちが何を踏みにじているかに気付かされました。

「飲める?」っていうと、「飲める」っていう。「食べる?」っていうと、「食べる」っていう。「安全?」っていうと、「安全」っていう。そうして、あとで怖くなつて、「でも本当は摂らない方がいい?」っていうと、「摂らない方がいい?」っていう。こだまでしょうか。いいえ、枝野です。

ネットで見つけました。上手いこと言う人がいるもんだと感心します。笑えないけど笑ってしまいました。笑ってしまっただけ笑えない…。

光円寺本堂を震災後を生きるというテーマでの舞踏のつどい(高砂舞踏協同組合)にお貸しし、1万7千円の震災への寄付を頂きました。BOPの活動、福島原発20キロ圏内にとりのこされた動物を助ける「犬猫救済の輪」放射能の母乳汚染を調べるための支援を始めた「母乳調査・母子支援ネットワーク」(ゆうちよ銀行2188記号12170 番号70089991)へ合わせて3万5千円の寄付をさせていただきました。

二ヶ月がぐる。なみだがじわじわでてくる。何か胸の奥から、しみでてくるように。叫ぶことを耐えている東北関東の人たち。突然いのちを失くした人たち。そういう人の悲しみが地中深く降りていって。私の胸にしみ出してくる。地下水みたいに。そうだなきつと、つながっているんだ。悲しみの水系で。突然出てくる涙は、きつとあの泣けない人のもの。

前田真吹さんの福島・石巻報告会の案内がぎりぎり! ぜひぜひ五月十六日(月) 昼光円寺、夜姫路船場御坊来て下さい。(惟)